

顔・心・体

通巻 44号 平成 29年度
公益社団法人顔と心と体研究会
会報誌

【新顧問 藤井達也氏 ご寄稿】

昨年 10 月より当法人の顧問に就任いただいた、医師の藤井達也様からご寄稿いただきました。

かづき先生は私と出会った 20 年前ごろから独自の手法によるメイクを立ち上げ、実際の医療現場に参入し、メイク(化粧)による治療が社会復帰や QOL (Quality Of Life:生活/生命の質)向上につながることを世間に発信し続けておられます。先生は「顔と心と体は繋がっている」と言われます。「心と体」であれば納得できるものの、「顔を中心としたメイクだけで本当に QOL が上がるのだろうか？」というのが私の抱いた第一印象でした。地味ではない先生の外観も、私の不信感を募らせました。そもそもメイク自体が偽りの姿を晒すことであり、単なるプラセボ効果の域を出ないのでは…？そんな懐疑的なイメージをもっておりました。現代医療を否定したり、その不足部分を強調することで、自分の主義主張や存在価値を高めようとする団体・個人は無数に存在します。一部は金儲けが目的で、一部はカルト的妄信が背景にあることもあります。現代においても、命や生活を守ろうとする地道で科学的な努力が、妨害されることも少なくありません。また、過去には常識でも、現在は非常識となる場合もあります。だからこそ、医師という職業は、「当初はすべてのものを疑ってかかる」クセが強くなってしまっているのです。



藤井 達也(ふじい たつや)
河北総合病院 安全・感染管理室 室長 兼
健康管理センター 副センター長
公益社団法人 顔と心と体研究会 顧問

* Contents *

表紙～P. 2 新顧問・藤井達也氏 ご寄稿	P. 6 メイクボランティア講習会開催案内
P. 3 顔と心と体研究会 社員総会ご案内	平成 28 年度ボランティア功労者発表
P. 4～5 メイクボランティア講習会と スキルアップ講習会のご紹介	P. 7 活動予定 (公開講座・シンポジウム)
	P. 8 メイクボランティア募集要項

(→表紙からのつづき)

医師は、自分で実体験・追試・検証できなければ、どんなガイドラインやエビデンスできえも信じることができない因果な商売であり、不遜な人種なのです。そんな私が、かづき先生が実際にメイクをしている現場に何度か足を運ぶ機会を得ました。そのたびに、メイクを受けた患者たちが喜ぶ姿、外観の魅力を引き出す技術、同時に心をも癒す才能、泣き顔を一瞬で笑顔にする魔法に幾度となく遭遇し、驚嘆しました。何の医療資格をも備えていなかった人が、苦悩の暗闇にいた患者に光と福音をもたらす奇跡を何度みたことか…。

それから、ときどき仕事を手伝うことになりました。主に、メイクが医学界へ殴り込むような論文や学会発表の内容に関する技術的なアドバイスでした。QOLという言葉は、1970年に米国で環境問題の中で取り上げられ、現在では医療現場では当たり前のよう使用される用語ですが、医療によってQOLが改善したことを証明する論文や発表は、実は決して多くはありません。というよりも、病気を患うことによる憂い・不安や恐怖・苦痛は、医療的介入の有無にかかわらず、身体、心理、社会、環境のあらゆる面で悪影響をもたらします。現代医療でも、疾患の治療成績は良くなっても、患者個々のQOLはその維持が精一杯であるといっても過言ではないでしょう。また、医師の多くは、自らのコストパフォーマンスだけを磨くことに執着する傾向にあります。初めて発見した、自分だけが体系化できる(理解している)、自分だけが治せる…、これらの付加価値と効率化にあえて拘るのです。そのため、医師と患者による評価の不一致もしばしば経験します。医師が喜ばしい結果であると感じていても、患者側は一向に満足できない場合です。その中でかづき先生は、一貫して社会復帰とQOL向上という目標に拘り続けています。その根底には、カウンセリング技法を超越した宗教の赦しのごとき共感と受容が横たわっています。医学会において、医師たちが各種の医療機器が投資に見合うか否かを計算し利潤追求や自らの名声獲得に奔走するのを尻目に、淡々と主観と客観の双方向で患者のQOLを検証し今後の課題を熱く発表するかづき先生の姿をみて、「どちらが本物の医師なのか？どちらが医療と呼ぶに相応しいのか？」と悲しくなることがありました。翻って、当初私がかづき先生に対して抱いていた猜疑心は、今や自分を様々な角度から映す三面鏡を覗き見るがごとく感覚となって昇華され、いつしか先生にアドバイスしていたつもりが、逆に先生に指導されていたことを知る今日この頃なのであります。この会報誌を読んでいただいている皆様、顔と心と体…この深淵なる世界へようこそ。





平成29年度 公益社団法人顔と心と体研究会 社員総会のご案内



当法人は全国の会員の皆様の温かいお力添えにより活動しております。今年度も下記のとおり社員総会を開催し、平成28年度の事業報告・決算等についてご報告いたします。

皆様ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ・「社員」とは正会員の皆様のことです。
- ・「社員総会」とは、正会員様によって構成され、「理事会」(理事長および理事の方々の会議)で予め定められた事項について、正会員の皆様に報告・承認を得るために開催いたします。
- ・出席できない正会員様は、お持ちの議決権を他の正会員様に委任することができます。

- 日時 平成29年6月13日(火) 18:15～19:30 (開場:17:45)
- 会場 REIKO KAZKI 本社
東京都新宿区左門町3-1 左門イレブンビル4階
- 交通 東京メトロ 丸の内線「四谷三丁目」駅 徒歩1分

<会議の目的事項>

- 報告事項
平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告の内容報告の件
- 決議事項
第一号議案 平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)計算書類及び財産目録承認の件
第二号議案 「社員総会規則」承認の件

正会員の皆様へお願い

社員総会の議決権をお持ちの正会員の皆様には、社員総会への出欠確認用の返信ハガキを本会報誌とともにお送りしています。

出席・欠席に関わらず6月5日(月) 必着にてご返信ください。

ご欠席の場合には返信ハガキが委任状となり議決権数にカウントいたしますのでハガキを必ずご返信くださいますよう、よろしくお願いたします。

なお、ハガキは平成28年度の正会員の皆様にお送りしております。





メイクボランティア講習会ご紹介



「メイクボランティア講習会」ならびに「スキルアップ講習会」についてご紹介します。

【基礎】メイクボランティア講習会

メイクボランティアの経験はないけれども、興味があるという方々は、年齢性別問わず、どなたでもご参加いただけます。コミュニケーションの基礎、訪問時の注意事項、メイクサービスの実技指導をおこないます。

ボランティア訪問の経験はあってもまだまだ不安ばかり、という方の再受講も大歓迎です！

注) 会員様以外の方も本講習会にはご参加いただけますが、メイクボランティアへの参加には当法人へのご入会が必須となりますので、もし未入会の方をお誘いの際にはご注意ください。



まずはメイクボランティアについてご説明。

講師が実際の流れをデモンストレーションします。



その後、参加者同士でメイク実習を行ないます。講師が適宜アドバイスしますので、初めての方でも安心です。

メイクボランティア講習会参加者の感想

- 座学だけでなく実技もできたことで、どのようなことに気をつければよいかということが具体的にわかり不安が少し取り除けました。(30代・東京都)
- とても楽しい雰囲気の中で、ボランティアとしての心構えや参加姿勢、そして基本的なメイク技術や対象者の方々との関わり方等に関して教えていただき、勉強になりました。(40代・茨城県)
- 人に対してメイクをしたことがなかったので、直接肌に触れて人にメイクすることの難しさを実感しましたが、同時にメイクでキレイになれると嬉しいということも実感しました。(40代・三重県)
- 実際のボランティアの現場がイメージでき、コミュニケーションの勉強にもなりました。(20代・東京都)
- 大変わかりやすく、安心して受講することが出来ました。是非すぐにボランティアに参加して、現場で実践できたらと思います。(40代・東京都)
- 自分にプラスになる上に誰かをキレイにできる技術を学べて、本当に良い講習会でした。(20代・東京都)

【応用】スキルアップ講習会(コミュニケーション編/メイク実技編)

何回かボランティア訪問を経験し、ご提供するメイクの幅を広げたい、もっと上手にコミュニケーションをとりたいと希望する方のための講習会です。「コミュニケーション編」と「メイク実技編」の2つのセッションに分け、それぞれのスキルに特化した、より具体的な内容を学ぶことができます。

現在フルメイクを担当されている方や再受講の方は、どちらか一つの講習会を受講することもできます。

※メイクボランティア参加経験が3回以上の方が対象ですが、それ以外の会員の方もお気軽にご相談ください。

スキルアップ講習会(コミュニケーション編)



コミュニケーション編では、認知症について講習。講師と参加者で簡単なシミュレーション。

スキルアップ講習会(メイク実技編)



メイク実技編では、肌作りなどについて実際にご自身や参加者同士でメイクをしながら学びます。それ以外にも、参加者から「〇〇について教えてほしい」「××な時はどうしたら良いか知りたい」などご要望があれば随時対応しますので、疑問があったらなんでもご相談下さい。

スキルアップ講習会参加者の感想

<コミュニケーション編>

- 子供の頃の遊びの話などは自分自身も懐かしく思ったので、高齢の方はもっと懐かしく感動するかなと勉強になりました。(40代・東京都)
- 相手の感情を大切にし、その方が発した言葉をくり返す重要性が印象に残りました。(30代・神奈川県)

<メイク実技編>

- メイクボランティアで聞けない疑問点がすっきり解消されて嬉しかったです。(50代・神奈川県)
- 大体どうすれば良いのかわかっていたつもりのことを一つ一つ丁寧に噛み砕いて教えていただき「そうだったのか!」と改めて知ることができました。(50代・東京都)
- ハンドケアの方法なども教えていただけ良かったです。(50代・埼玉県)

メイクボランティア講習会開催のご案内

メイクボランティア講習会 **参加費：650 円（※当法人会員以外の方は 3,000 円）**

講習会をまだ受けたことがない方。年齢性別は問いません。講習会終了後、提携施設でのメイクボランティア活動へ参加できます。（※提携施設への訪問には当法人へのご入会が必須です。）

東京

7月30日（日）13:30 ～ 15:45（定員 10名）

申込〆切
7/21(金) 15 時迄

スキルアップ講習会（コミュニケーション編／メイク実技編）

参加費：コミュニケーション編・2,000 円／メイク実技編・3,000 円

※2講座同日受講の場合は合せて 4,500 円

当法人のメイクボランティアに3回以上参加経験のある方が対象の講習会です。

コミュニケーション編、メイク実技編の2講座を修了した時点で、修了証を発行します。同日に続けて2つの講習を受講しても、それぞれ別日の講習を受講しても構いません。

過去にスキルアップ講習修了の方の再受講も大歓迎です。

東京

7月23日（日）

コミュニケーション編：10:00 ～ 12:00（定員 8名）

メイク実技編：13:00 ～ 16:00（定員 8名）

申込〆切
7/14(金) 15 時迄

●申し込み方法

下記必要事項を明記の上、FAX または メール、ホームページのフォーム よりお申し込みください。

- ① 希望講習会名、②お名前、③会員番号（宛名シール右下 N 以下の 6 桁）、④電話番号、⑤メールアドレス

ボランティア功労者発表

平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）の期間中、当法人のメイクボランティアに積極的にご参加くださった会員の皆様をご紹介します。

以下 9 名のボランティア功労者の方々に、表彰状をお送りいたします。

《平成 28 年度 メイクボランティア功労者の皆様》

西奈まるか（17 回）、志麻裕子（17 回）、太田芙蓉子（16 回）、
国府田圭子（15 回）、山田みどり（12 回）、山本美樹（11 回）、
花園道子（9 回）、神藤恵子（9 回）、金子文恵（8 回）

（敬称略・（ ）内は参加回数）

いつもご協力ありがとうございます。



今後の活動予定



「顔と心と体のケア」シンポジウム 2017(仮) ～交通事故後の心のケア～

主催:アクサ損害保険株式会社 共催:公益社団法人 顔と心と体研究会

2017年9月23日(土・祝) 13:00～16:30

(終了後メイク相談コーナーを実施予定)

会場:コクヨホール(東京都港区港南 1-38-35 品川駅港南口より徒歩5分)

「顔と心と体」のつながりをテーマに、化粧が社会に与える効果を広く一般の方に普及啓発するため、毎年当法人が開催しております公開講座・シンポジウムですが、今年度は、アクサ損害保険株式会社との共催により、標題のテーマで開催する予定です。

「顔と心と体」それぞれの分野の第一線で活躍している講師による講演とパネルディスカッションを行ない、また今回は会場内にメイク体験コーナーも実施予定です。

詳しくは当法人のホームページ等にて6月以降順次ご案内予定ですので、そちらをご確認下さい。また、シンポジウムのチラシが完成次第、会員の皆様にはお知らせする予定です。

皆様のご参加をお待ちしております！(※募集時期は追ってお知らせいたします。)

参加費 無料(予定)

定員 300名

出演者(予定) 古市 佳央 氏(オープンハートの会会長)

小川 令 氏(日本医科大学 形成外科学教室 主任教授)

加茂 登志子 氏(若松町こころとひふのクリニック PCIT研修センター長)

内田 嘉壽子(かつき れいこ)(公益社団法人 顔と心と体研究会 理事長)

司会(予定) 堤 信子 氏(フリーアナウンサー)



※写真は昨年度の第11回外観先端医療シンポジウムの様子

メイクボランティア 募集要項

最新の募集情報や、他エリアでの開催有無はHPをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。
入居・・・高齢者入居型施設、通所・・・高齢者通所型施設、その他・・・障がい者施設・視覚障がい者センター等

6/2 (金) 13:30～	通所	はなまるデイサービス武蔵浦和(埼玉)	JR埼京線「武蔵浦和駅」より徒歩10分
6/3 (土) 14:00～	入居	サニーライフ国分寺(東京)	JR中央線「国立駅」より送迎
6/5 (月) 14:00～	入居	ベストライフ中原(神奈川)	JR南武線「武蔵中原駅」より徒歩8分
6/11 (日) 13:30～	入居	メディカルホームまどかときわ台北(東京)	東武東上線「ときわ台駅」より徒歩13分
6/24 (土) 14:00～	入居	メディカルホームまどか西大井(東京)	JR横須賀線「西大井駅」より徒歩10分
7/3 (月) 14:00～	入居	ベストライフ飯能(埼玉)	西武池袋線「飯能駅」よりバス
7/4 (火) 14:00～	入居	クラーチ・ファミリア佐倉(千葉)	京成電鉄「ユーカリが丘駅」または「志津駅」より徒歩
7/7 (金) 13:15～	入居	新とみ(東京)	有楽町線「新富町駅」より徒歩
6/6 (火) 13:15～	入居	にこにこハウス療育センター(兵庫)	神戸バス「病院前」(しあわせの村)より徒歩
6/13 (火) 14:00～	入居	あおぞら(大阪)	地下鉄谷町線「八尾南駅」より送迎
6/23 (金) 13:30～	入居	ユーアイ(大阪)	阪神本線「千船駅」より徒歩5分
7/15 (土) 13:30～	入居	グランダ野田(大阪)	阪神本線「野田駅」より徒歩5分

上記の時間は、メイク開始のお時間です。集合は記載時間の約1時間前になります。

※施設の都合等で上記日程が変更になる場合もございますので、どうぞご了承ください。(最新情報はHPでご確認下さい)
また、ボランティアに参加される皆様が体調不良のまま参加されると、施設の方に「命に関わる」ご迷惑がかかりますので、体調管理には十分に気をつけて下さい。

■ 申込～参加の流れ

<参加条件> 当法人の会員であること、および、当会主催のメイクボランティア講習会を修了していること

<申込方法:ホームページ、またはメール(info@kaokokorokarada.org)、電話、FAXにて、事務局までお申込ください

メールの場合は、下記の①～④までの必要事項をお知らせ下さい。

件名:メイクボランティア申込 / 本文:①氏名 ②当日ご本人の緊急連絡先 ③参加希望日と訪問先施設名 ④会員番号

<申込確認メールの配信> 参加の可否について、メールで事務局よりご連絡します
※事務局からのメール(info@kaokokorokarada.org)が受信可能となるよう受信設定のご協力をお願いします

<当日案内> 訪問日約1週間前までに、メールにて事務局より「集合時間・引率リーダー名・緊急連絡先など」をご連絡いたしますので、確認後、必ず返信をお願いします

■ 申込後に参加をキャンセルする場合

理由をそえて、前営業日の15時までに、事務局までお電話ください。

訪問日が日曜日・祝日・月曜日にあたる場合は特にお気をつけください。(例:訪問日が月曜祝日の場合 → 前週金曜日の15時まで)

■ お願い

1. 上記の通り、訪問には参加条件がございます。該当されない第三者のお誘いはご遠慮ください。
2. 人数が少なくなると訪問先へご迷惑をおかけしますので、キャンセルの場合はお早めのご連絡をお願いします。
3. ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス等)に変更がありましたら、速やかに事務局へお知らせ下さい。

<重要>メイクボランティアへのお申込やお問い合わせをメールにてお送りいただき、事務局より1週間以上返信がない場合には、一度事務局へお電話をお願いいたします。
ボランティアの開催日が迫っている場合には、該当日の3日前までに必ずお電話いただきますようお願い申し上げます。
ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

公益社団法人 顔と心と体研究会 事務局

Tel:03-3350-1035(月～金 9:30～18:00 土日祝休み)

Fax:03-3350-0176(24時間受付) E-mail:info@kaokokorokarada.org

募集日程は随時更新中です。

上記以降の日程は公式ホームページをご確認ください。

顔と心と体 メイクボランティア

検索